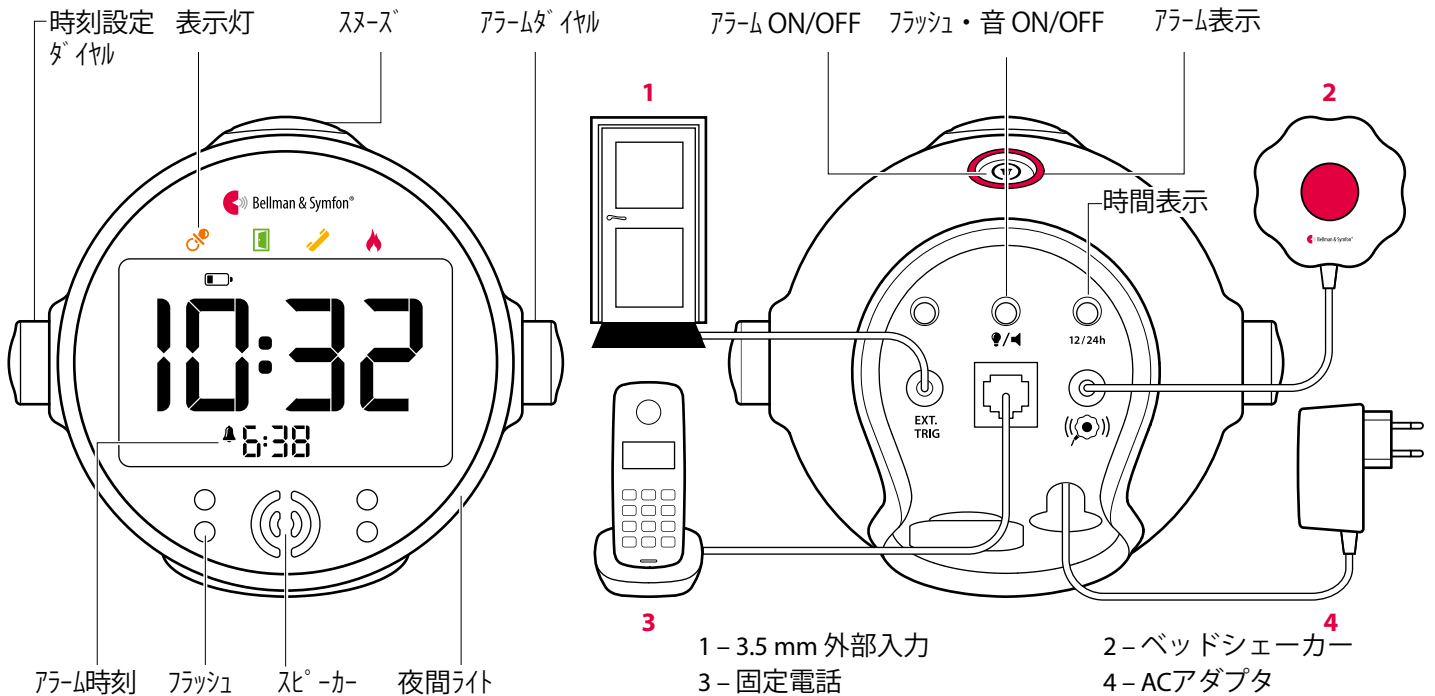


# アラームクロック受信器

## ボタンと操作



### 【同梱内容】

- BE1580 ビジット アラームクロック
- BE1270 ベッドシェーカー
- ACアダプタ
- 4×1.2 V AAA NiMH 電池

### 【電源・バッテリー】

- 主電源:7.5 V DC / 1.5 A  
(外部電源ユニット)
- バックアップ電池:  
4×1.2 V AAA NiMH 充電電池
- バックアップ動作時間:  
完全充電時で約24時間
- バックアップ充電時間:  
完全放電から約10時間

### 【出力信号】

- 音:10 cmで100 dB、950 Hz ~ 3 kHz
- 4つの高輝度点滅LED
- ベッドシェーカー出力:  
2.0 ~ 4.0 VDC

### 【寸法と重量】

- 高さ:108 mm (4.3インチ)
- 幅:121 mm (4.8インチ)
- 奥行き:92 mm (3.6インチ)
- 重量:390 g (電池含む)

### 【LEDの表示】

- LEDは以下の状態を示します:
- オレンジLED、乳首マーク  
→ ベビーセンサが検知
  - 緑LED、ドアマーク  
→ ドアセンサが検知
  - 黄色LED、電話マーク  
→ 電話着信を検知
  - 赤LED、火マーク  
→ 火災警報器が作動

### 【周波数と通信範囲】

- 周波数:314.91 MHz、433.92 MHz  
または 868.3 MHz (地域により異なる)
  - 地域別通信範囲:
    - ・315 MHz:最大50 m (164 ft)
    - ・433 MHz:30~80 m (98~260 ft)
    - ・868 MHz:50~250 m (55~273 yd)
- ※ 通信範囲は、使用する無線周波数、建物の特性、送信機と受信機の組み合わせにより異なります。

### 【環境条件】

- 屋内使用のみ
- 動作温度:0°~35° C
- 相対湿度:15%~90%  
(結露しないこと)

# アラームクロック受信器

## 【はじめに】

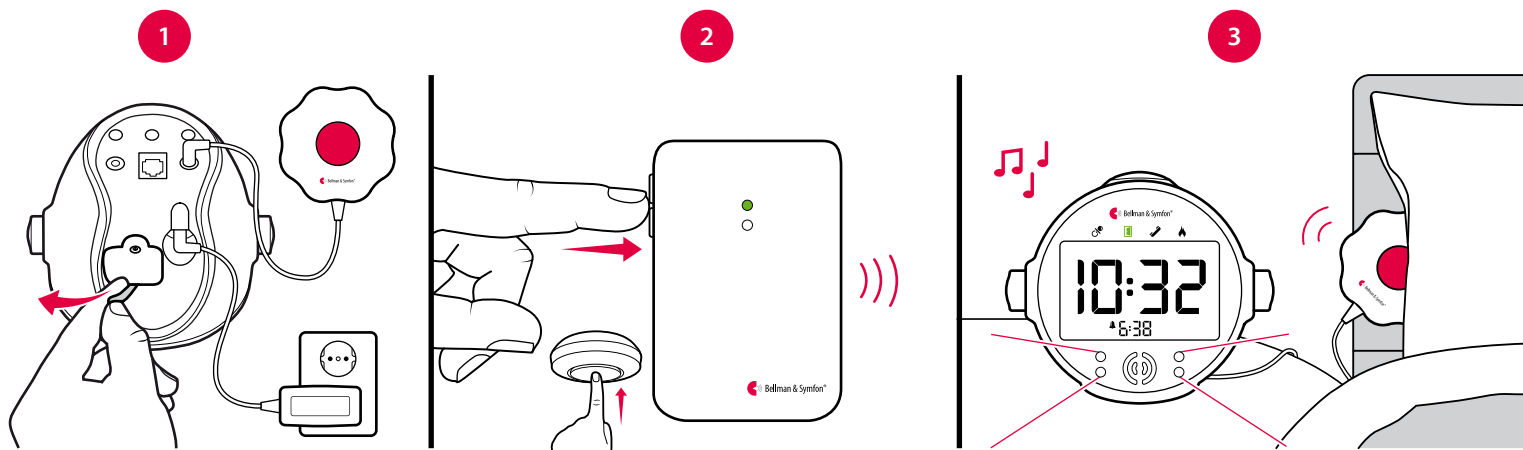
-バッテリータブを引き抜き、電源ユニットをアラームクロックとコンセントに接続します。

ベッドシェーカーを接続し、枕またはマットレスの下に隠し、アラームクロックはベッドサイドテーブルの上に置いてください。

-無線接続のテストには、ビジット送信機が必要です。送信機のテストボタンを押してください。

-アラームクロックがビジットLEDを点灯し、音と点滅を開始、ベッドシェーカーが枕やマットレス下で振動します。

-何も反応がない場合は、トラブルシューティングを参照してください。



## 【信号パターン】

発信器が作動すると、アラームクロックはLEDを点灯、音を鳴らし、点滅し、ベッドシェーカーが一定のリズムで振動します。これを「信号パターン」と呼び、発信器により以下のパターンが設定されています：

ドアセンサ／呼び出しボタン発信器

→ 緑 LED、ドアチャイム、振動：遅い

テレホンセンサ発信器／固定電話接続

→ 黄色 LED、リング信号、振動：中程度

ベビーモニター発信器

→ オレンジ LED、ベビーメロディー、振動：速い

火災警報発信器

→ 赤 LED、ファイアホーン、振動：長い

## 【設定】

### ■ フラッシュと音のオン/オフ

アラームクロック裏面の【フラッシュと音のオン/オフ】ボタンを押して、各オプションを切り替えます。

- ・フラッシュがオフの場合、時計画面に指定のアイコンが表示されます。
- ・音がミュートの場合も同様にアイコンが表示されます。

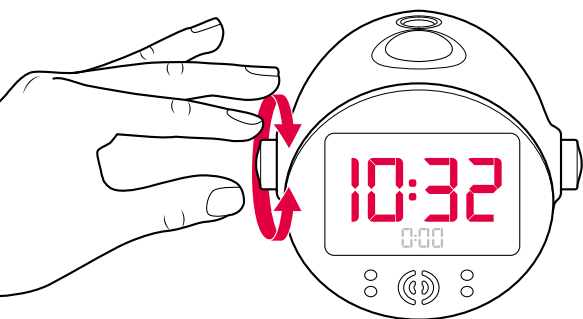
### ■ ディスプレイのバックライト

裏面の【バックライト調整】ボタンを押して、4段階で明るさを調整します。5段階目では常時点灯になります。

# アラームクロック受信器

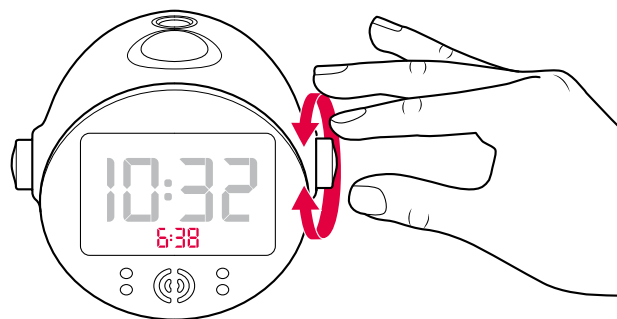
## 【時刻設定】

- 左側のダイヤルを押し、回して時間を設定します。
- 分を設定するには、もう一度ダイヤルを押し、回します。
- 再度押し、設定を保存してください。



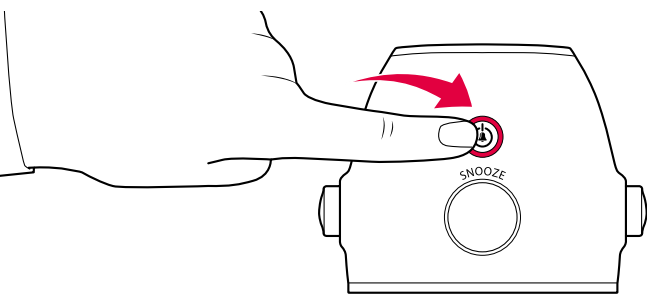
## 【アラーム設定】

- 右側のダイヤルを押し、回して時間を設定します。
- 分の設定も同様に行い、再度押しして保存してください。



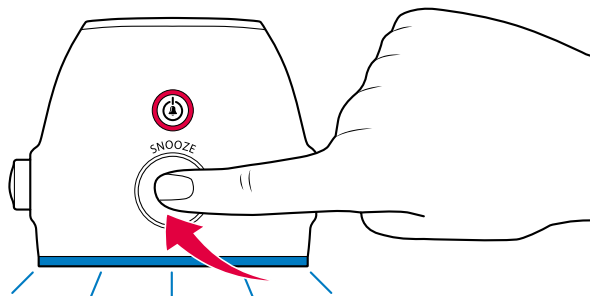
## 【アラームの作動】

- アラームのオン/オフボタンを押してアラームを作動させます。
- アラーム表示が赤く点灯します。
- アラーム解除には、同じボタンを再度押ししてください。



## 【スヌーズとナイトライトの使用法】

- スヌーズボタンを短く押すと、アラームが一時停止します。  
(安全上、火災警報のスヌーズは不可)
- スヌーズボタンを3秒間長押しするとナイトライトが点灯し、再度押すと消灯します。



## 【アクセサリ】

アラームクロックは以下のアクセサリと組み合わせて使用できます：

- ベッドシェーカー

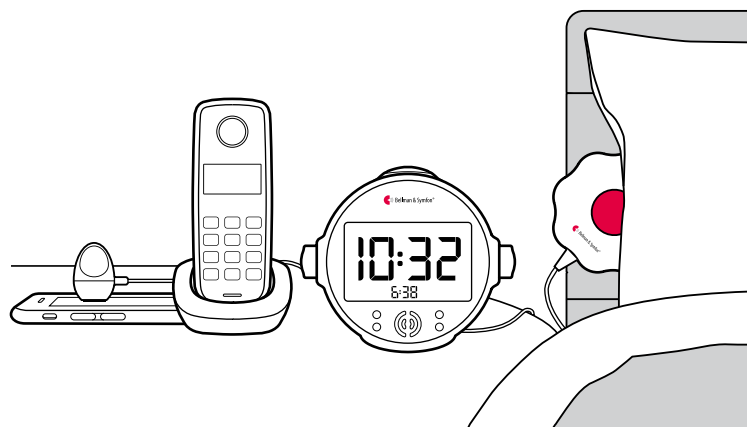
→ ベッドシェーカー入力に接続し、枕下に配置することで、アラーム作動時に振動で起床できます。

- 電話コード

→ 固定電話をアラームクロックのRJ11入力に接続し、電話着信時に通知が可能です。

- マットスイッチ

→ 外部トリガ入力に接続し、パートナーがベッドから離れる際に通知が行われます。



# アラームクロック受信器

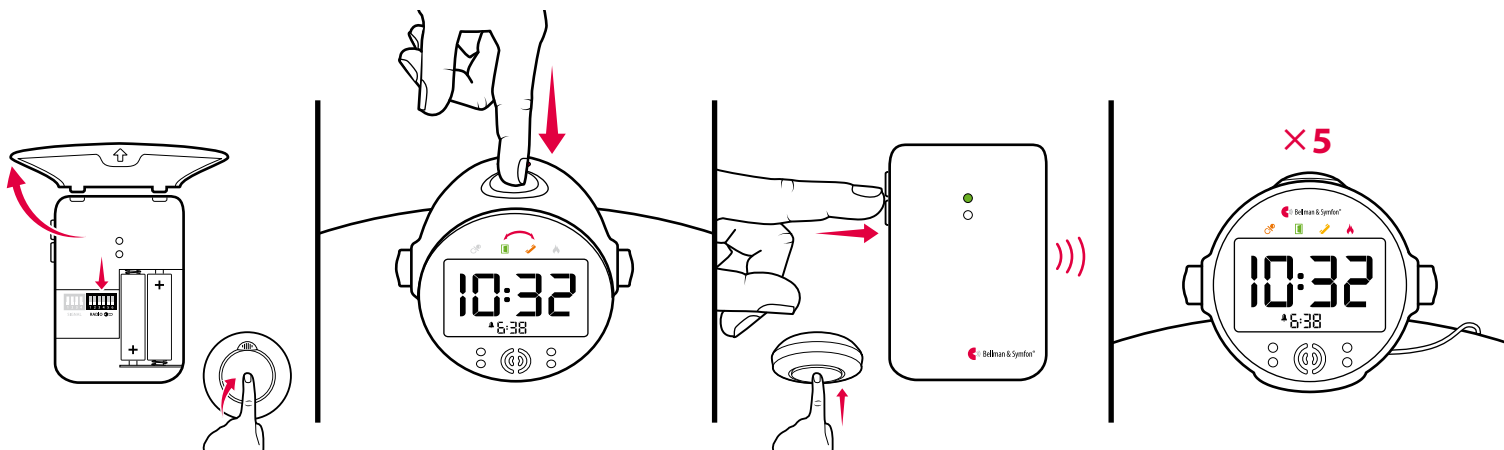
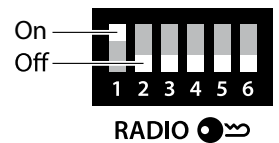
## 【無線キーの変更】

もしビジットシステムが理由もなく作動する場合、近隣の別システムによる干渉の可能性があります。これを防ぐため、全ユニットの無線キーを変更する必要があります。  
無線キーのスイッチは各送信機に設置されています。



## 【無線キー変更手順】

- 1.送信機のカバーを開け、無線キーのスイッチを「オン」(上向き)に移動して無線キーを変更します。(該当送信機の「無線キーの変更」を参照)
- 2.アラームクロックのスヌーズボタンを、緑色と黄色のビジットLEDが交互に点滅するまで長押しし、その後ボタンを放します。
- 3.送信機のテストボタンを30秒以内に押し、新しい無線キーを送信します。
- 4.アラームクロックの全ビジットLEDが5回点滅し、無線キー変更が完了したことを示し、その後通常モードに戻ります。

※ 注意:すべてのビジットユニットは、グループとして動作するために同じ無線キーに設定する必要があります。



## 【トラブルシューティング】

- アラームクロックがオフのように見える場合
  - ・電源ユニットが正しく接続されているか確認してください。
  - ・バックアップ電池を数時間充電してください。
- 時計画面上の  が点滅し始めた場合
  - ・電源が切断され、バックアップ電池がほぼ放電状態です。  
電源ユニットを接続し、電池を充電してください。
- 時計画面に  が表示された場合
  - ・受信機がバックアップ電池を検出していません。  
バッテリータブを引き抜き、【はじめに】の手順を再確認してください。
- 送信機作動時にアラームクロックが反応しない場合
  - ・送信機の電池や接続状態を確認してください。
  - ・アラームクロックを送信機に近づけ、無線範囲内にあるか確認してください。
  - ・アラームクロックが他のユニットと同じ無線キーに設定されているか確認してください。(「無線キーの変更」を参照)
- 理由もなくアラームクロックが作動する場合
  - ・近隣に別のビジットシステムが設置されている可能性があります。  
全ユニットの無線キーを変更してください。(「無線キーの変更」を参照)
- アラーム音量が低すぎる場合
  - ・音量は徐々に上昇し、最終的には100 dB以上に達します。